INTUITIVE INFORMATION SECURITY
それは先を読む力
JUNE 2004

TREND MICRO

InterScan Messaging Security Suite™

メッセージングゲートウェイのセキュリティ対策ソフトウェア

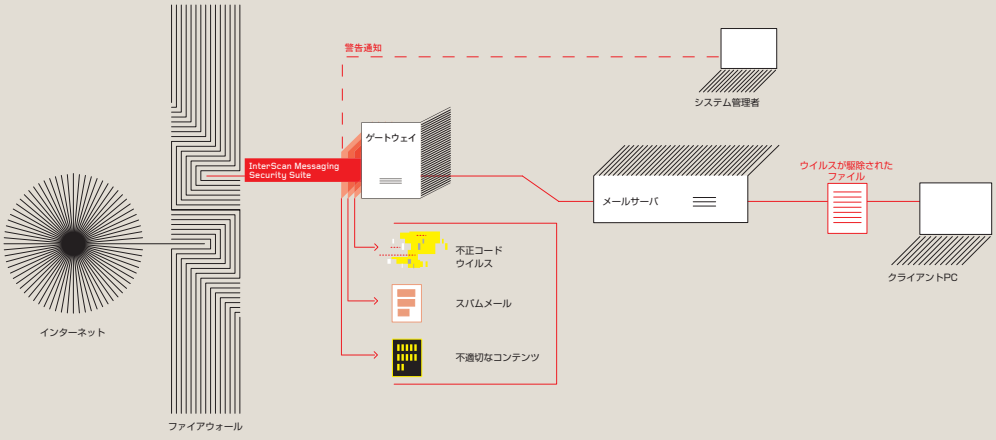
PROBLEM — 課題 —

企業のネットワーク環境は、絶えずセキュリティの脅威にさらされています。日常の業務に支障を与える不正コードや不適切なコンテンツなどが、ネットワークの正常な運用を脅かしているのです。メッセージングシステムを悪用し、大量メール送信を無断で行うウイルスは、感染するとサーバダウンなどを引き起こします。また、スパムメール、業務に関係のないコンテンツや添付ファイルは、貴重なネットワークリソースを消費します。機密情報、顧客情報が第三者に送信されるようなことがあれば、企業としての信用が失墜し、法的責任を問われる危険もあります。こうした現状の中、企業のメッセージング環境には、統合的な管理が不可欠なのです。

STRATEGY — 戦略 —

InterScan Messaging Security Suiteは、Trend Micro Control Manager（以下、Control Manager）を介して「大規模感染予防ポリシー」ファイルを自動更新することで、新種ウイルスの脅威に迅速に対応し、ネットワークをウイルスの侵入から総合的に守るように設計されています。従来のようなパターンファイルのみに頼ったウイルス検索だけではなく、新種ウイルスの特徴と対処方法を記述した「大規模感染予防ポリシー」ベースのウイルス対策を施せるのが特徴です。さらに、コンテンツフィルタリング機能により企業にとって不適切なコンテンツを検出します。DoS攻撃の引き金となる不正コードや大量メール送信を無断で行うようなウイルスの検出と駆除を行い、企業のメッセージング環境を守ります。このほか、システム管理者に対してはSSLで安全性の高いWebベースの管理コンソールを提供します。Control Managerコンソールを利用し、複数のInterScan Messaging Security Suiteの更新やレポートを集中管理することも可能になっています。

- ◆ 新種ウイルスに対処する「大規模感染予防ポリシー」ファイルを用いたコンテンツ検索により、新種ウイルスの侵入を予防
- ◆ 先進のスパムメール対策とコンテンツフィルタリング機能によって、企業のビジネスの根幹となるメッセージングシステムを保護
- ◆ 多くの導入実績を誇るウイルス対策技術を用い既知、亜種、マクロウイルスを駆除
- ◆ メール爆弾や大規模感染型ウイルスなど、メールサービスの停止を誘発する脅威を防止



InterScan Messaging Security Suiteの仕組み

InterScan Messaging Security Suiteは、e-mailの送受信プロトコルのSMTP、POP3プロトコルをリアルタイムで検索し、ウイルスを駆除します。ウイルスに感染したメールがユーザに届くのを阻止し、システム管理者に警告通知します。また、メールサーバで送受信される不適切なコンテンツをフィルタ設定に基づき、処理します。

Trend Micro InterScan Messaging Security Suite™

ウイルス対策機能

◇ 検索エンジンとパターンファイルを用いて既知のウイルスを検出するほか、MacroTrap 機能により、新種／変種／亜種のマクロウイルスについても検出することが可能です。また、圧縮ファイル（多重圧縮ファイルも含む）およびエンコードされた添付ファイルに潜むウイルスの検出にも対応しています。

◇ 予約アップデート機能を搭載し、パターンファイル、検索エンジンを自動的にダウンロードします。これにより、常にシステムを最新の状態に保つことが可能です。

◇ 無断で大量メール送信を行うウイルス（マスメーリング型ウイルス）は、企業に甚大な被害を及ぼします。InterScan Messaging Security Suite は、マスメーリング型ウイルスパターンファイルも自動で最新のものに更新できるため、ゲートウェイ上でウイルスが拡散する前にブロックすることが可能です。

◇ 検索エンジンは、20 階層までの再帰的圧縮ファイルや拡張子の偽造にも対応しています。

◇ ウイルス対策フィルタを用いてマスメーリング型ウイルスを検出し、設定に応じたフィルタアクションを実行することができます。

◇ 大規模感染予防ポリシーは、eManager フィルタ機能を利用します。これにより、新種ウイルスをブロックすることができるほか、ウイルスの大規模感染時に適切な予防措置を取ることが可能になります。

メッセージコンテンツ管理機能

◇ 6 種類の用途別 eManager フィルタ機能を用いてスパムメール、メッセージコンテンツの処理、メッセージ配信をコントロールすることが可能です。

◇ eManager フィルタ機能を利用することにより、組織内のメンバー／グループ単位で e-mail の使用基準（ポリシー）を簡単に設定できます。

インテリジェントなメールゲートウェイ機能

◇ マルチスレッドで動作する高機能な MTA（Mail Transfer Agent）機能を内蔵しています。

◇ 悪質なサービス拒否（DoS）攻撃を防止するほか、アンチリレー機能、IP アドレス指定によるメールサーバの接続制限なども行うことができます。

◇ 送信者詐称防止のリバース DNS ルックアップのサポート、ドメインベース配信（DNS もしくは SmartHost）、POP3 メッセージ検索など、多岐にわたる機能を内蔵しています。

リモート管理機能

◇ リモートインストールをサポートしているほか、Web ベース管理コンソール（SSL 対応）を用意しています。

◇ チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ社のFireWall-1 NGのAPI、AMON（Application Monitoring）をサポートしていますので、FireWall-1 NGの管理コンソールにInterScan Messaging Security Suiteの管理を統合させることが可能です。

Trend Micro Enterprise Protection Strategyのサポート

◇ トレンドマイクロのウイルス解析・サポートセンター「TrendLabs（トレンドラボ）」から配信されるウイルスの行動や特徴に基づいた大規模感染予防ポリシーを Trend Micro Control Manager 経由で受け取ることにより、パターンファイル配信以前においても有効なウイルス対策を実施することができます。※別途サービスへの加入が必要です。

▼ フィルタ設定 画面

▼ ポリシー設定 画面

Trend Micro Enterprise Protection Strategy

― ウイルス大規模感染を防ぎ、被害を最小限にとどめる、トレンドマイクロ ウイルス大規模感染防御ソリューション ―

トレンドマイクロ ウイルス大規模感染防御ソリューション、Trend Micro Enterprise Protection Strategy、（以下 Trend Micro EPS）は、ウイルスの大規模感染拡大によるネットワークの停止や生産性の大幅な低下などを防ぎ、ビジネス稼動の継続性を守る次世代のウイルス対策ソリューションです。いつ発生するかわからない大規模感染による被害を最小限にとどめるため、ウイルスなどからの攻撃に悪用される可能性のある脆弱性の検出から、感染被害終息までを 1 つの「ライフサイクル」とみなし、各段階に応じた適切な予防や防御策を提供します。Trend Micro EPS は、組織の経営者やシステム管理者の効果的なリスクマネジメント施策として、ビジネス基盤を支えるネットワークの信頼性を守ります。

■お問い合わせ先

ウイルス解析・サポートセンター「TrendLabs（トレンドラボ）」

24時間365日の強力なサポート

トレンドマイクロのウイルス解析・サポートセンター「TrendLabs」は、高度な技術水準と最新設備を備え、品質保証のISO9001:2000認定を取得しているフィリピンセンターを本部として、米国、日本、台湾、ドイツ、フランスの各国センターで構成されています。「TrendLabs」では、ウイルス解析エンジニアを含む400名以上のスタッフが24時間体制でウイルスの活動を監視しており、セキュリティに対する最新の脅威に関する情報を収集し、迅速かつ効果的に高品質なサービスとソリューションを世界各国のトレンドマイクロのパートナーとお客様に対して提供しています。

TREND MICRO CONTROL MANAGER

企業のセキュリティ対策を強化するマネージメントソフトウェア

Trend Micro Control Managerは、様々なネットワーク階層におけるウイルス対策を、全社的なコンテンツセキュリティ戦略として統合します。システム管理者は、Webベースの管理コンソールを介して、どこからでもネットワーク全体のウイルス監視、ウイルスタイプやネットワーク環境に応じた予防対策の設定、セキュリティポリシーの策定、最新プログラムの更新などを行うことができます。

システム要件

対応 OS（各日本語版）

- Windows 版
  Microsoft Windows NT Server 4.0 (Service Pack 6a)
  Microsoft Windows 2000 Server/Advanced Server (Service Pack 2 以上を推奨)
  Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition
- Solaris 版
  Solaris 8（32bit、64bit）、Solaris 9（32bit、64bit）
- Linux 版
  Red Hat Linux 7.3
  Red Hat Enterprise Linux AS/ES/WS 2.1
  Turbolinux Enterprise Server 8 powered by UnitedLinux（UnitedLinux V1.0）

※システム要件の詳細及びトレンドマイクロ製品の詳しい情報は下記をご参照ください。
http://www.trendmicro.co.jp/product/

トレンドマイクロ株式会社

東京本社： 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1
新宿マインズタワー
TEL.03-5334-3650（営業代表）
FAX.03-5334-6324

大阪営業所： 〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町3-5-1
エプソン大阪ビル7F
TEL.06-6258-8091
FAX.06-6258-8092

名古屋営業所： 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-5-27
錦中央ビル10F
TEL.052-955-1221
FAX.052-963-6332

福岡営業所： 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-3-7
サンエフビル7F
TEL.092-471-0562
FAX.092-471-0563

www.trendmicro.co.jp

P/N IMSS-OM-D008